

十和田湖観光への市の支援策は



野月 一博 (高志会)



十和田湖探勝の中心地、休屋

新たな活性化の要因もあり、これらを効果的に連携させることで焼山地区の活性化に努めていきたいと考えています。

また、温泉施設条例の一部改正で温泉受給権の譲渡を認めたことから、温泉資源の活用が図られ、当地区のにぎわい創出につながるものと考えています。

定住自立圏構想の一日も早い推進を

を前倒しで実施するなど、積極的に情報発信を行い、観光客数の回復に努めていきたいと考えています。

焼山地区の再開発プランは

議員 昨今、民間事業者による焼山地区の活性化もあるとのことだが、焼山地区がかつての盛況を取り戻すため、市は観光施策としてどのような再開発プランを持っているのか。

観光商工部長 現在湯ノ台で民間事業者による馬に関連する観光施設の計画が進んでいることや、今年秋には新たな事業者の参入も予定されるなど、

竹島 勝昭 (市政・市民クラブ)

とうてつ駅ビルは今後どうなるのか

議員 とうてつ駅ビルは解体される可能性があるのか。

観光商工部長 駅ビル等を所有している事業者から提示を受けている素案では、平成二十三年度から二十四年度に商業機能、公益機能を有する施設を整備する計画であり、平成二十四年度の早い時期に駅ビルを解体する予定となっております。また、解体後はそこに駅もしくはバスターミナルの機能をあわせて整備したいという素案が出ていますので、十和田観光電鉄株と事業者で協議中とのことです。

企画財政部長

議員 とうてつ駅ビルのような対応をしようとしているのか。

現在十和田観光電鉄株から、鉄道運行を維持していくための支援について、当市、三沢市、六戸町、県それぞれで要望を受け相互に連絡、調整を図りながら検討しているため、現時点では鉄道事業からの撤退の可能性について言及できる状況にはありません。要望の内容は、施設整備や運行欠損

の補てんへの支援要請であり、利用者が市民のみならず広域にわたることから、県、三沢市、六戸町と協議、検討を進めています。今後八月ごろをめどに係者と調整を図っていきたいと考えています。

市 長

本年二月の上十三地域広域市町村圏協議会で合意形成がされたことを受けて、現在関係市町村で具体的な内容を協議しています。関係市町村の意向を十分に尊重し、取り組み項目の内容等の協議を重ね、個別の協定項目や圏域ビジョンの骨格等で具体性が見出せた時点で、できるだけ早い時期に中心市宣言を行いたいと考えています。

議員

十和田観光電鉄株は鉄道事業から撤退する可能性があるのか。

また、同社からの鉄道事業への支援について、市はどのような相談を受け、ど

議員 十和田市駅がなくなった場合、市は通学生の足をどのように確保、支援していくのか。

企画財政部長

仮に鉄道事業が廃止された場合は、鉄道利用者の約八割を占める高校生等の通学に支障がないよう、代替バスの運行を検討していくことになるかと考えています。沿線市町以外の高校生などにも影響が生じることから、バスの接続等も含め、幅広く検討することが必要であると考えています。



十鉄の電車と駅ビル

議員 十和田市駅がなくなった場合、市は通学生をどのように確保、支援していくのか。